

生駒市立病院

平成29年度 実施状況調査報告書（3ヵ年のまとめ）（案）

目 次

書類の見方	1
診療科目	2
病床数	4
人員体制	6
患者数	8
質の高い医療の提供	10
地域完結型の医療体制構築への寄与	16
救急医療の充実	20
小児医療の充実	24
災害時医療の確保	24
予防医療の啓発	24
市民参加による運営	26
環境に配慮した運営	26
収支	28

書類の見方

見開き左ページには、生駒市病院事業計画の実現を目指して作成された平成29年度の事業計画に対する事業報告と、事業報告の補足説明を記載しています。

病院事業計画(平成27年11月改定)	平成29年度 事業計画	平成29年度 事業報告	平成29年度 事業報告の補足説明

見開き右ページには、生駒市立病院が開院した平成27年度から平成29年度までの「3カ年の評価・課題(案)」と、参考となる数値の3カ年の推移を記載しています。
「3カ年の評価・課題(案)」について生駒市立病院管理運営協議会でご意見をいただき、市立病院の今後の運営に反映していきます。

3カ年の評価・課題(案)	3カ年の推移(参考)

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 事業報告	平成 29 年度 事業報告の補足説明																																															
診療科目	14 診療科	15 診療科	16 診療科	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療科目数</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>					H29	H28	増減	診療科目数	16	15	1																																				
		H29	H28	増減																																															
診療科目数	16	15	1																																																
内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科	内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前診察 9:00～12:00 夕方診察 17:00～19:00 (土曜日除く) ・受付時間 午前診察 8:00～12:00 夕方診察 16:30～19:00 (土曜日除く)	内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科 診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前診察 9:00～12:00 夕方診察 17:00～19:00 (土曜日除く) ・受付時間 午前診察 8:00～12:00 夕方診察 16:30～19:00 (土曜日除く)	<皮膚科> ・常勤医師の確保により、皮膚科を追加標榜しました。 ・診察開始日 4/7 ・診察内容 湿疹、感染症、虫刺され、角化症など一般的皮膚科疾患のほか、形成外科と連携することにより、レーザーによる色素斑、皮膚腫瘍の治療、フットケアなども実施しています。 <外科> 常勤医師の増員により、胃がんに加えて食道がん、肺がん、乳がん、すい臓がん等の手術や無輸血手術が可能になりました。 <小児科> ・外来：常勤医師の確保により、午前診察の二診体制（月、木）、夕方診察（月）が開始されました。 ・入院：常勤医師の確保により、肺炎、アデノウイルス感染症等の入院治療が可能になりました。 <血管外科> 常勤医師の確保により、透析シャント手術に加えて、下肢静脈瘤の手術が可能になりました。 <その他> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>開始時期</th> <th>診察時間</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合診療科（内科系、外科系を含めて総合的に診察）</td> <td>H27. 7～</td> <td>月～金 17:00～</td> <td>2,786件</td> </tr> <tr> <td>大学の腎臓泌尿器外科教授による特別外来</td> <td>H27. 9～</td> <td>月 2 回 PM (予約制)</td> <td>151件</td> </tr> <tr> <td>がん治療相談外来 (放射線科)</td> <td>H27.10～</td> <td>週1回 AM</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>ペイン（痛み）外来 (麻酔科)</td> <td>H27.11～</td> <td>月1回 AM</td> <td>113件</td> </tr> <tr> <td>助産外来 (産婦人科)</td> <td>H28. 4～</td> <td>週1回 PM</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>フットケア外来 (形成外科)</td> <td>H28. 6～</td> <td>週1回 AM</td> <td>480件</td> </tr> <tr> <td>不妊外来（男性） (腎臓泌尿器科)</td> <td>H28. 7～</td> <td>月 1 回 PM (予約制)</td> <td>66件</td> </tr> <tr> <td>まぶた外来 (形成外科)</td> <td>H28.12～</td> <td>週 1 回 AM (予約制)</td> <td>186件</td> </tr> <tr> <td>アンチエイジング外来 (形成外科)</td> <td>H29. 4～</td> <td>週 1 回 PM</td> <td>361件</td> </tr> <tr> <td>レーザー外来 (形成外科)</td> <td>H29. 8～</td> <td>週1回 AM</td> <td>81件</td> </tr> <tr> <td>乳腺・甲状腺外来 (外科)</td> <td>H29.10～</td> <td>週1回 AM</td> <td>196件</td> </tr> </tbody> </table> ※がん治療相談外来、助産外来については、件数の算出が不可能 <レーザー外来> ・形成外科の常勤医師の増員により、レーザー外来を開設しました。 ・Qスイッチ付ルビーレーザーにより、「黒いアザ」「茶色いアザ」の治療を行っています。 <乳腺・甲状腺外来> ・外科の常勤医師の増員により、乳腺・甲状腺外来を開設しました。 ・検診において精密検査が必要となった場合に詳しく検査し、乳がん、甲状腺がんについての診断と治療を行っています。	内容	開始時期	診察時間	件数	総合診療科（内科系、外科系を含めて総合的に診察）	H27. 7～	月～金 17:00～	2,786件	大学の腎臓泌尿器外科教授による特別外来	H27. 9～	月 2 回 PM (予約制)	151件	がん治療相談外来 (放射線科)	H27.10～	週1回 AM	※	ペイン（痛み）外来 (麻酔科)	H27.11～	月1回 AM	113件	助産外来 (産婦人科)	H28. 4～	週1回 PM	※	フットケア外来 (形成外科)	H28. 6～	週1回 AM	480件	不妊外来（男性） (腎臓泌尿器科)	H28. 7～	月 1 回 PM (予約制)	66件	まぶた外来 (形成外科)	H28.12～	週 1 回 AM (予約制)	186件	アンチエイジング外来 (形成外科)	H29. 4～	週 1 回 PM	361件	レーザー外来 (形成外科)	H29. 8～	週1回 AM	81件	乳腺・甲状腺外来 (外科)	H29.10～	週1回 AM	196件
内容	開始時期	診察時間	件数																																																
総合診療科（内科系、外科系を含めて総合的に診察）	H27. 7～	月～金 17:00～	2,786件																																																
大学の腎臓泌尿器外科教授による特別外来	H27. 9～	月 2 回 PM (予約制)	151件																																																
がん治療相談外来 (放射線科)	H27.10～	週1回 AM	※																																																
ペイン（痛み）外来 (麻酔科)	H27.11～	月1回 AM	113件																																																
助産外来 (産婦人科)	H28. 4～	週1回 PM	※																																																
フットケア外来 (形成外科)	H28. 6～	週1回 AM	480件																																																
不妊外来（男性） (腎臓泌尿器科)	H28. 7～	月 1 回 PM (予約制)	66件																																																
まぶた外来 (形成外科)	H28.12～	週 1 回 AM (予約制)	186件																																																
アンチエイジング外来 (形成外科)	H29. 4～	週 1 回 PM	361件																																																
レーザー外来 (形成外科)	H29. 8～	週1回 AM	81件																																																
乳腺・甲状腺外来 (外科)	H29.10～	週1回 AM	196件																																																
上記以外の診療科については、市民ニーズ等の必要に応じて、指定管理者と協議し、追加できるものとします。	既存の診療科について、常勤医師の確保等による医療内容の充実を図ります。 また、標榜診療科の追加標榜又は専門外来の開設については、市と連携して、市内の医療ニーズの把握に努めます。	・既存の診療科について、常勤医師の確保により医療内容の充実を図りました。 (外科、形成外科、小児科、血管外科、健診センター) ・標榜診療科の追加標榜については、今年度より皮膚科を開設しました。																																																	

【平成27年度】

- 平成27年度事業計画の12標榜診療科で開院し、平成28年1月からは形成外科と救急科の2科を追加標榜し、病院事業計画で掲げる診療科の標榜は実現できている。
- 医療提供の幅を広げるため、14診療科に加え、院内標榜として総合診療科（夕診）やがん治療相談外来等を開設している。

【平成28年度】

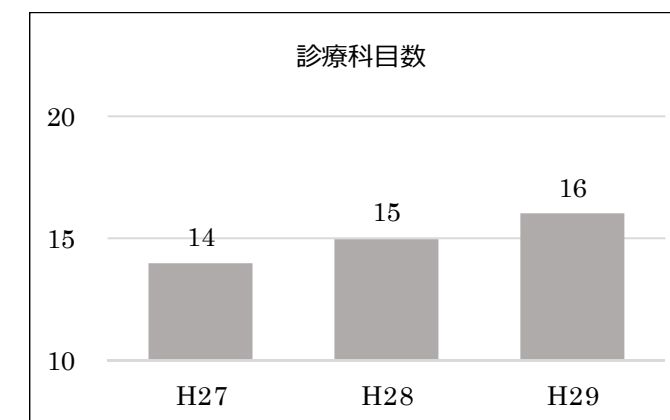
- 血管外科の標榜により、15診療科となった。
- 血管外科の標榜により、
 - ・循環器内科や形成外科など他の診療科との連携により、市立病院の医療の幅が広がる。
 - ・診療所やクリニックからの紹介にも対応できるため、地域完結型の医療に貢献できる。
- 院内標榜としてフットケア外来、助産師外来を開設し、特色ある専門外来の開設ができてきている。
- 6月から開設したフットケア外来については、フットケアの知識が豊富な認定看護師も加わり、足の観察、足浴・爪切り（爪削り）、足の洗い方、セルフケア指導を行うことで、糖尿病等による足壊疽の重症化等の予防に効果を挙げている。
- 助産師外来は、妊婦・褥婦の健康診査及び保健指導を助産師により行う外来のこと。一人当たり30分前後の時間を取って、助産師が母子の健康状態を確認し、お産に向けての心身の準備を整え、助産師の介助で安心してお産していただくことができている。
- まぶた外来については、生まれつきの病気や、年齢とともに皮膚が緩んでくるような老化現象、腫瘍（できもの）、外傷（けが）などに対して、まぶたをできるだけ正常に近い状態に戻す治療を行っている。

【平成29年度】

- 皮膚科を開設し、形成外科と連携することにより治療できる症例が増えている。
- 外科の常勤医師が増えたことにより、がんの手術療法が充実したほか、手術が可能な症例が増えている。
- 小児科は4月から常勤医師が不在となっていたが、1月に常勤医師を確保したことにより、小児科の入院治療が再び可能となっている。
- 血管外科については循環器内科の医師が兼任しているほか、常勤医師の着任により、手術が可能な症例が増えている。
- 健診センターのセンター長として内科の常勤医師を確保したことにより、検査当日に医師から検査結果の説明を受けられるなど、検診体制が充実している。
- 形成外科のレーザー外来が開始されたことにより、治療できる症例が増えている。
- 乳腺・甲状腺外来の開設により、検診で精密検査が必要となった場合に受診する診療科がわかりやすくなり、がん治療の早期治療につながっている。

課題

- 診療科目数は病院事業計画を上回っているが、各診療科における常勤医師の増員等、既存診療科の医療内容を充実させる必要がある。**
- 専門外来の開設により多種・多様な患者ニーズに対応しているが、今後も引き続き疾病の早期発見・早期治療を目指すため、専門外来の開設を検討していく必要がある。**
- 患者の医療ニーズに対応するため、院内の診療科間の連携や、より高次、専門性の高い医療機関との連携を進める必要がある。**



平成27年6月 12診療科

平成28年1月 形成外科、救急科 開設

平成28年7月 血管外科 開設

平成29年4月 皮膚科 開設

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 事業報告	平成 29 年度 事業報告の補足説明																												
病床数	病床数 210 床	(平成 30 年 3 月 31 日) 実稼働可能病床数 210 床	(平成 30 年 3 月 31 日) 実稼働可能病床数 203 床	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実稼働可能病床数</td> <td>203</td> <td>146</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>23</td> <td>18</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>内科系</td> <td>73</td> <td>76</td> <td>△ 3</td> </tr> <tr> <td>外科系</td> <td>103</td> <td>48</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>HCU</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考：達成率 97% (203 床÷210 床)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 8 月 1 日からレディース病床として 5 床稼働しました。(4 階西病棟) 平成 29 年 10 月 1 日から 3 階 ICU 室 7 床 (HCU として稼働予定) を除く 203 床を稼働しました。(5 階東病棟：52 床) 入院患者の集中治療については、4 階、5 階の病棟 (観察室) で行っています。 4 階西病棟 (48 床) 産婦人科と女性の一般患者を対象とした混合病棟、小児科 4 階東病棟 (51 床) 整形外科、腎臓泌尿器科 5 階西病棟 (52 床) 循環器内科、形成外科、血管外科、一般内科 5 階東病棟 (52 床) 一般外科、消化器内科 <p>< ICU (Intensive Care Unit) 施設基準 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 集中治療室 専任の医師が常時 ICU 内に勤務していることが必要 看護師数 2 対 1 <p>< HCU (High Care Unit) 施設基準 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 準集中治療室 専任の常勤医師が常時院内に勤務していることが必要 看護師数 4 対 1 <p>1 日最大稼働病床数 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日) 160 床 (病床利用率：160 床÷203 床=79%)</p>		H29	H28	増減	実稼働可能病床数	203	146	57	小児科	4	4	0	産婦人科	23	18	5	内科系	73	76	△ 3	外科系	103	48	55	HCU	0	0	0
		H29	H28		増減																											
実稼働可能病床数	203	146	57																													
小児科	4	4	0																													
産婦人科	23	18	5																													
内科系	73	76	△ 3																													
外科系	103	48	55																													
HCU	0	0	0																													
	ICU 7 床 小児科 20 床 産婦人科 20 床 内科系 79 床 外科系 84 床	小児科 5 床 産婦人科 20 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 7 床 病棟編成 4 病棟、10 対 1 看護基準 市民ニーズ等必要に応じて、随時開棟し、フルオープンを目指します。 脳神経外科、整形外科の常勤医師の確保に取り組み、外科系の稼働病床数の増加を目指します。常勤医師による当直体制の確保に取り組み、HCU の稼働を目指します。	小児科 4 床 産婦人科 23 床 内科系 73 床 外科系 103 床 病棟編成 4 病棟、10 対 1 看護基準 許可病床 210 床のうち稼働病床は 203 床でした。次年度フルオープン予定です。																													

【平成27年度】

○平成27年度事業計画どおり開院当初から99床でスタートし、その後入院患者数の推移に応じて、5階西病棟を開棟し、内科系29床、外科系18床を稼働させた。また、HCU7床も稼働させ、稼働病床数の増加を図った。

○なお、病院事業計画との比較では、小児科病床で-16床、外科系病床-36床と差が大きく、小児科、外科系ともに常勤医師の不足が影響しているものとする。

【平成28年度】

○平成28年9月1日から3階ICU室を休止したため、実稼働可能病床数は平成28年度事業計画の153床から7床減少し、146床となった。

【平成29年度】

○レディース病棟として5床増床することにより、女性患者の増加に対応している。

○小児科が4階東病棟から4階西病棟となったことにより、産婦人科と小児科の入院治療の連携が進められている。

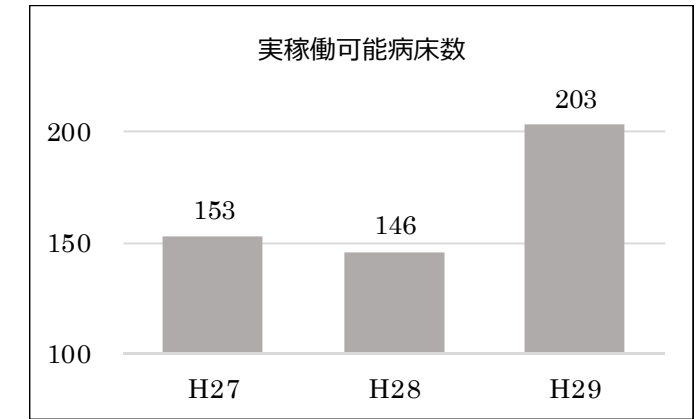
○5階東病棟を開棟し、外科手術と内視鏡治療の患者中心の病棟として稼働している。

○フルオープンに向けて次年度からHCU（ICU室をHCUの施設基準で使用）を稼働させるため、平日の常勤医師の当直体制に加え土日祝の常勤医師の当直体制の準備を進めている。

課題

次年度から許可病床210床がフルオープンすることから、今後は病床機能の効率的運営を図るため、病床利用率の向上を目指す必要がある。

小児科の救急医療や入院医療を充実させるためには、小児科の常勤医師を増員し、体制整備を図る必要がある。



平成27年6月 99床

平成27年8月 ICU室7床（HCUとして稼働）

平成28年1月 4階西病棟5床休止

5階西病棟52床稼働

平成28年9月 ICU室7床（HCUとして稼働）休止

平成29年8月 4階西病棟5床 稼働

平成29年10月 5階東病棟52床 稼働

【平成27年度】

○病院事業計画に基づき、常勤医師の確保に努めたが、全国的な医師不足、医師の地域・診療科偏在の状況下、どうしても常勤医師が不足している診療科については、非常勤医師を確保し、対応し、平成27年度事業計画との比較では、常勤換算で+1.9人と増員を図っている。一方で、病院事業計画との比較においては、小児科、産婦人科、一般外科、脳神経外科、整形外科、リハビリ科で医師数がマイナスになっている状況。

○子育て中の医師・看護師の育児支援・就労支援として院内保育園を設置し、24時間保育や休日保育を行っていることから、外来、病棟ともに看護師数については、計画以上の人員を確保できている。

○開院当初から運動療法・物理療法の理学療法及び失語症、嚥下障害のリハビリである言語聴覚を実施した。

○平成28年1月から作業療法士が着任し、着替え・トイレなどの日常生活行為の機能回復である作業療法が加わったことにより、リハビリ領域の拡充ができた。

【平成28年度】

○平成28年度事業計画と比較して、常勤医師は、一般内科、消化器内科、一般外科が各1名不足、腎臓泌尿器科が1名増、常勤換算では、+0.94と増員を図っている。

○小児科は、7月から常勤医師1名減になったが、9月に新たに常勤医師1名を確保することができた。

○整形外科の常勤医師を確保した。

○腎臓泌尿器科の常勤医師が1名増え、2名体制となった。

○常勤医師が減少した内科・消化器内科については内科系の医師が連携することで診療体制を確保した。

○外科については、非常勤医師を確保することで診療体制を維持した。

○救急科については、他の診療科の医師が連携することにより救急診療体制を確保した。

○看護師、薬剤師、管理栄養士等の人員は、病院事業計画を達成している。

【平成29年度】

○健診センターのセンター長として内科の常勤医師を確保したことにより、検査当日に医師から検査結果の説明を受けられるなど、検診体制が充実している。（再掲）

○外科の常勤医師が増えたことにより、がんの手術療法が充実したほか、手術が可能な症例が増えている。

○形成外科の常勤医師が1名増え、2名体制となったことにより、レーザー外来の開設が可能となった。

○皮膚科の常勤医師の確保により、皮膚科の追加標榜が可能となった。

○消化器内科については、内科の医師が連携することで診療体制が確保できている。

○リハビリテーション科については、医師募集中であるが各診療科の医師の指示に基づき理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等のスタッフが実施することにより体制が確保できている。

○救急科については、医師募集中であるが、他の診療科の医師が連携することにより救急診療体制を確保できている。当直が可能な常勤医師を確保したことにより、平日は概ね常勤医師の当直体制ができている。土日祝については非常勤医師が当直している。

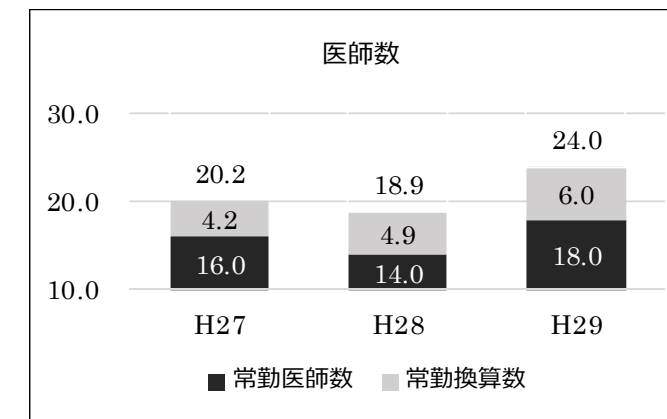
○看護師については、患者数に必要な人数を随時確保できている。また、病棟のフルオープンに向けて看護師を増員している。

○薬剤師、管理栄養士の各1名の人員増により、抗がん剤調製業務や栄養指導・栄養プラン業務が充実してきている。

○入院患者の増加に伴い、各診療科からのリハビリ要請に対応するため、理学療法士が倍増している。

課題

病院事業計画のコンセプトに掲げられている救急医療の充実、小児医療の充実のためには、引き続き脳神経外科・救急科の常勤医師の確保、小児科の常勤医師の増員が必要である。



平成27年度からの常勤医師数の変遷

	H27末	H28		H29		H29末
		増	減	増	減	
内科	2	1	△2	1		2
消化器内科	2		△1	1	△1	1
循環器内科	2					2
外科	2	1	△2	3	△2	2
脳神経外科						
整形外科		2	△1			1
形成外科	1			1		2
小児科	1	1	△1	1	△1	1
腎臓泌尿器科	1	2	△1			2
産婦人科	1					1
リハビリテーション科		1	△1			
放射線科	1					1
救急科	1	1	△2			
麻酔科	2				△1	1
血管外科				1		1
皮膚科				1		1
計	16	9	△11	9	△5	18

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 29 年度 事業計画		平成 29 年度 事業報告		平成 29 年度 事業報告の補足説明							
患者数	1 日平均患者数		1 日平均患者数		1 日平均患者数		<入院>						
		入院	外来		入院	外来		H29		H28		増減	
	4月	95.0 人	140.8 人	4月	102.9 人	124.0 人	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	
	5月	95.0 人	140.8 人	5月	114.1 人	146.7 人	5,770	15.8	9,233	25.3	△ 3,463	△ 9.5	
	6月	93.0 人	135.8 人	6月	125.3 人	168.7 人	2,016	5.5	2,435	6.7	△ 419	△ 1.2	
	7月	95.0 人	135.8 人	7月	123.5 人	158.8 人	4,041	11.1	8,610	23.6	△ 4,569	△ 12.5	
	8月	105.0 人	140.8 人	8月	100.6 人	177.9 人	7,493	20.6	2,782	7.6	4,711	13.0	
	9月	105.0 人	130.8 人	9月	109.7 人	176.4 人	10,997	30.1	5,963	16.3	5,034	13.8	
	10月	115.0 人	150.8 人	10月	115.3 人	176.7 人	4,818	13.2	2,654	7.3	2,164	5.9	
	11月	130.0 人	170.8 人	11月	124.5 人	196.5 人	83	0.2	16	0.0	67	0.2	
12月	135.0 人	180.8 人	12月	121.7 人	198.0 人	腎臓泌尿器科	1,060	2.9	1,302	3.6	△ 242	△ 0.7	
1月	140.0 人	180.8 人	1月	132.3 人	189.2 人	産婦人科	995	2.7	940	2.6	55	0.1	
2月	140.0 人	170.8 人	2月	141.5 人	194.5 人	リハビリテーション科	0	0.0	186	0.5	△ 186	△ 0.5	
3月	140.0 人	180.8 人	3月	133.1 人	192.2 人	血管外科	6,625	18.2	257	0.7	6,368	17.5	
年間平均	115.7 人	155.0 人	年間平均	120.3 人	174.9 人	計	43,898	120.3	34,378	94.2	9,520	26.1	
			達成率	104.0 %	112.8 %	<外来>							
							H29		H28		増減		
						延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均		
						13,292	36.4	11,913	32.6	1,379	3.8		
						2,294	6.3	2,463	6.8	△ 169	△ 0.5		
						5,420	14.9	3,930	10.8	1,490	4.1		
						6,022	16.5	3,458	9.5	2,564	7.0		
						951	2.6	745	2.0	206	0.6		
						12,226	33.5	6,870	18.8	5,356	14.7		
						5,911	16.2	3,592	9.8	2,319	6.4		
						1,248	3.4	1,731	4.7	△ 483	△ 1.3		
						3,551	9.7	3,149	8.6	402	1.1		
						3,426	9.4	2,941	8.1	485	1.3		
						11	0.1	121	0.3	△ 110	△ 0.2		
						482	1.3	0	0.0	482	1.3		
						113	0.3	153	0.4	△ 40	△ 0.1		
						340	0.9	32	0.1	308	0.8		
						4,403	12.1	0	0.0	4,403	12.1		
						2,136	5.8	1,368	3.8	768	2.0		
						2,011	5.5	1,604	4.4	407	1.1		
						計	63,837	174.9	44,070	120.7	19,767	54.2	
						参考：達成率（年度実績平均÷年度計画平均）							
						・入院：120.3 人÷115.7 人=104.0%							
						・外来：174.9 人÷155.0 人=112.8%							
						<ホームページの掲載例>							
						・薬局、看護部のページが充実							
						・小児科の夕診開始のお知らせ							
						<Facebook の掲載例>							
						・公開医療講座のお知らせ							
						・院長交代のお知らせ							
						・ご意見箱への対応（病棟のデイルームに掛時計を設置、自動精算機に LED 照明を設置）							
						<情報発信モニターの掲載例>							
						・医療講演会の案内							
						・ご意見箱の意見による改善事例							
						<医療講演会の内容例>							
						・がんの早期発見について							
						・皮膚の「できもの」の外科治療・レーザー治療							
						・入院から介護へ							
						<地域の医療機関への情報提供等の内容例>							
						新任医師の紹介、追加標榜診療科の紹介、外来予定表、医療講演会の案内など							
						<病診連携懇話会>							
						医療連携登録医をはじめとした生駒市内の診療所の医師を対象とした症例検討会の実施、市立病院への紹介件数や機器の共同利用実績の報告などを行うことにより、医療連携の推進を図るものです。							
	○入院・外来患者数の増加に向けた取組 市民や地域の医療機関へ、市立病院の医療に関する必要な情報をそれぞれ積極的に提供することにより、入院・外来患者数の増加を目指します。	○入院・外来患者数の増加に向けた取組 市民や地域の医療機関へ、市立病院の医療に関する必要な情報をそれぞれ積極的に提供し、入院・外来患者数の増加を目指しました。	○入院・外来患者数の増加に向けた取組 市民や地域の医療機関へ、市立病院の医療に関する必要な情報をそれぞれ積極的に提供し、入院・外来患者数の増加を目指しました。										
	(市民への周知の取組) ・ホームページ等による広報活動の充実 ・医療講演会（自治会等各種団体への出張講座含む）の内容の充実 ・患者への相談窓口（来院・電話）の充実	(市民への周知の取組) ・ホームページ等による広報活動の充実 ・Facebook による情報発信を開始 ・1 階売店前から 1 階中央待合に情報発信モニターを移設 ・医療講演会の内容の充実 54 講座 2,253 名参加 (自治会等各種団体への出張講座 3 回 225 名を含む) ・患者への相談窓口（来院・電話）の充実 電話交換手 1 名を配置しました。	(市民への周知の取組) ・ホームページ等による広報活動の充実 ・Facebook による情報発信を開始 ・1 階売店前から 1 階中央待合に情報発信モニターを移設 ・医療講演会の内容の充実 54 講座 2,253 名参加 (自治会等各種団体への出張講座 3 回 225 名を含む) ・患者への相談窓口（来院・電話）の充実 電話交換手 1 名を配置しました。										
	(地域の医療機関への周知の取組) ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 の増加 ・病診連携懇話会の開催	(地域の医療機関への周知の取組) ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 (146 件) ・病診連携懇話会において症例検討等を実施していましたが、幅広く参加者を募ることができるよう、内容等の見直しに時間を要したため、次年度に繰越しました。	(地域の医療機関への周知の取組) ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 (146 件) ・病診連携懇話会において症例検討等を実施していましたが、幅広く参加者を募ることができるよう、内容等の見直しに時間を要したため、次年度に繰越しました。										

【平成27年度】

- 入院の1日平均患者数は、内科系、外科系が多く、小児科、産婦人科は少ない。
- 外来の1日平均患者数は、内科が最も多く、次いで外科、消化器内科、形成外科が多い。
- 脳神経外科、整形外科については、常勤医師がいないため、平日の外来診療日が少なく、また、手術や入院対応ができなかった。

【平成28年度】

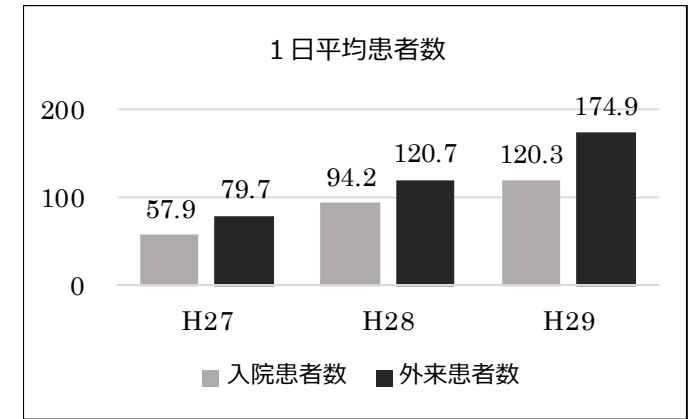
- 整形外科は、常勤医師が確保できたことから、入院・外来患者ともに増加している。
- 形成外科は、本年度フットケア外来も開設し、さらに患者数が増加している。

【平成29年度】

- 血管外科の常勤医師を確保したこと、外科、形成外科の常勤医師を増員したことにより、治療が可能な症例が増え、入院・外来患者数が増加している。
- 整形外科は上肢や下肢、脊椎の骨折等の手術に伴い入院する高齢者の患者数が増加している。
- 薬局のホームページではスタッフの集合写真、看護部のブログでは市立病院で産まれた赤ちゃんの写真を掲載するなど、市民に親しみやすい印象を与える周知の取組が進められている。
- Facebookによる情報発信など、市民への周知方法を充実させている。
- 医療講演会は、講演会で実施したアンケート調査で希望が多かったがん治療や在宅医療に関する内容が開催されている。

課題

入院患者数、外来患者数ともに増加しているが、二次医療機関として入院患者数を増やすためには、各診療科の常勤医師を増員して治療が可能な症例を増やすほか、地域の医療機関との病病・病診連携を進めることや、救急患者を確実に受け入れることが必要である。



病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 事業報告	平成 29 年度 事業報告の補足説明																																																																																																																									
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○質の高い医療の提供 生駒市の地域医療の問題点を踏まえ、政策的に実施すべき医療事業を確実に実施し、市民満足度の高い、質の高い医療を提供する。</p> <p>○医療サービスについて ・手術件数（全体） 900 件</p> <p>・分娩件数 120 件</p> <p>・産科交流会 ※母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。</p>	<p>基本方針 安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、豊富なキャリアを積んだ医師や看護師、コメディカルスタッフがチーム医療で、患者にとってベストな治療・ケアを行います。 腹腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に積極的に取り組みます。 患者の意見から、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、患者の意見を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。</p> <p>○医療サービスについて ・手術件数（全体） 900 件</p> <p>・分娩件数 120 件</p> <p>・産科交流会 ※母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。</p>	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、入院診療計画策定時より多職種が参加して最適な治療方法を策定するなど、チーム医療を実施しました。 腹腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みましたが、患者の状態に応じて他の手術方法に切り替えたため、低侵襲手術件数は減少しました。 患者の意見から、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、患者の意見を反映した心温まる医療サービスの提供に取り組みました。</p> <p>○医療サービスについて ・手術件数 1,165 件</p> <p>・分娩件数 99 件</p> <p>・産科交流会 母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行いました。 7/8 21 家族 67 名参加</p>	<p><科目別手術件数></p> <table border="1" data-bbox="1656 142 2196 499"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>0</td><td>3</td><td>△ 3</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>0</td><td>1</td><td>△ 1</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>7</td><td>52</td><td>△ 45</td></tr> <tr><td>外科</td><td>235</td><td>116</td><td>119</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>222</td><td>164</td><td>58</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>533</td><td>419</td><td>114</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>49</td><td>40</td><td>9</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>67</td><td>62</td><td>5</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>4</td><td>7</td><td>△ 3</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>44</td><td>6</td><td>38</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>4</td><td>0</td><td>4</td></tr> <tr><td>合計</td><td>1,165</td><td>870</td><td>295</td></tr> </tbody> </table> <p>・主な外科手術例 悪性腫瘍手術、腹腔鏡下胆のう摘出術など</p> <p>・主な整形外科手術例 上肢や下肢、脊椎の骨折手術など</p> <p>・主な形成外科手術例 皮膚皮下腫瘍摘出術、眼瞼下垂術など</p> <p>・手術室：7室の内、4室稼働 看護師を中心に、周手術期・術前外来で日帰り手術のサポートを行っています。</p> <p><腹腔鏡下手術（胸腔鏡下手術を含む）></p> <table border="1" data-bbox="1656 814 2178 886"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>29</td> <td>45</td> <td>△ 16</td> </tr> </tbody> </table> <p><ダ・ヴィンチ手術></p> <table border="1" data-bbox="1656 932 2178 1003"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>△ 1</td> </tr> </tbody> </table> <p><分娩件数></p> <table border="1" data-bbox="1656 1066 2196 1243"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H28</th> <th rowspan="2">増減</th> </tr> <tr> <th>市内</th> <th>市外</th> <th>市内</th> <th>市外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">県内</td> <td>68</td> <td>8</td> <td>69</td> <td>1</td> <td>△ 1</td> </tr> <tr> <td>76</td> <td>7</td> <td>70</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>県外</td> <td>23</td> <td></td> <td>27</td> <td></td> <td>△ 4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>99</td> <td></td> <td>97</td> <td></td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p><参考：生駒市民の出生件数></p> <table border="1" data-bbox="1656 1297 2214 1390"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>773</td> <td>871</td> <td>△ 98</td> </tr> <tr> <td>内、市立病院</td> <td>9%</td> <td>8%</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table> <p><助産制度の実績></p> <table border="1" data-bbox="1656 1457 2178 1528"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>△ 3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※市立病院は、児童福祉法第 36 条に規定する助産施設</p> <p>・ハイリスク分娩への対応は、奈良県総合医療センターと連携を取っている。通常の未熟児出産は市立病院で対応可能。 連携実績 奈良県総合医療センター 3 件 奈良県立医科大学附属病院 1 件</p>		H29	H28	増減	内科	0	3	△ 3	消化器内科	0	1	△ 1	循環器内科	7	52	△ 45	外科	235	116	119	整形外科	222	164	58	形成外科	533	419	114	腎臓泌尿器科	49	40	9	産婦人科	67	62	5	放射線科	4	7	△ 3	血管外科	44	6	38	皮膚科	4	0	4	合計	1,165	870	295		H29	H28	増減	件数	29	45	△ 16		H29	H28	増減	件数	7	8	△ 1		H29		H28		増減	市内	市外	市内	市外	県内	68	8	69	1	△ 1	76	7	70	6	6	県外	23		27		△ 4	合計	99		97		2		H29	H28	増減	件数	773	871	△ 98	内、市立病院	9%	8%	1%		H29	H28	増減	件数	1	4	△ 3
	H29	H28	増減																																																																																																																									
内科	0	3	△ 3																																																																																																																									
消化器内科	0	1	△ 1																																																																																																																									
循環器内科	7	52	△ 45																																																																																																																									
外科	235	116	119																																																																																																																									
整形外科	222	164	58																																																																																																																									
形成外科	533	419	114																																																																																																																									
腎臓泌尿器科	49	40	9																																																																																																																									
産婦人科	67	62	5																																																																																																																									
放射線科	4	7	△ 3																																																																																																																									
血管外科	44	6	38																																																																																																																									
皮膚科	4	0	4																																																																																																																									
合計	1,165	870	295																																																																																																																									
	H29	H28	増減																																																																																																																									
件数	29	45	△ 16																																																																																																																									
	H29	H28	増減																																																																																																																									
件数	7	8	△ 1																																																																																																																									
	H29		H28		増減																																																																																																																							
	市内	市外	市内	市外																																																																																																																								
県内	68	8	69	1	△ 1																																																																																																																							
	76	7	70	6	6																																																																																																																							
県外	23		27		△ 4																																																																																																																							
合計	99		97		2																																																																																																																							
	H29	H28	増減																																																																																																																									
件数	773	871	△ 98																																																																																																																									
内、市立病院	9%	8%	1%																																																																																																																									
	H29	H28	増減																																																																																																																									
件数	1	4	△ 3																																																																																																																									

【平成27年度】

○外来部門の満足度

医師の「患者さんへの配慮」や「内容の説明」「看護師の対応やサービス」に評価が高く、会計、総合受付、掲示物の項目の評価が低くなっている。

○入院部門の満足度

医師、看護師の説明、態度に関する項目の評価が高く、食事、掲示物、売店、静寂といった施設環境の項目の評価が低くなっている。

○ご意見箱の設置により、市立病院の管理運営に市民の意見を反映させ、市民満足度の向上につなげていく仕組みができた。

○高齢者のがん治療では、開腹手術より低侵襲で早期の社会復帰が可能な腹腔鏡下手術を取り入れ、特に、前立腺がんの手術については、先進のロボット手術(ダ・ヴィンチ)を実施し、傷をできる限り小さなものにし、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に積極的に取り組んでいる。

○従来、本市内に公立病院がなかったため、他市の公立病院に頼らざるを得ない状況の助産施設を市立病院に位置づけることができた。

【平成28年度】

○手術件数は、昨年の年間手術件数（334件）を超えており、主な要因としては形成外科の手術件数の増加や整形外科の手術が始まったことによるもの。

○6/16 市立病院で出産された母子同士の交流の機会として、「産科交流会」を開催し、お母さん同士の交流、育児情報の提供など、産後のサポートも行っている。

○循環器内科の医師が血管外科を兼務しており、血管外科の手術等を行うことにより、血管外科としてはカウントされていないが、循環器内科の患者数の増加につながっている。

【平成29年度】

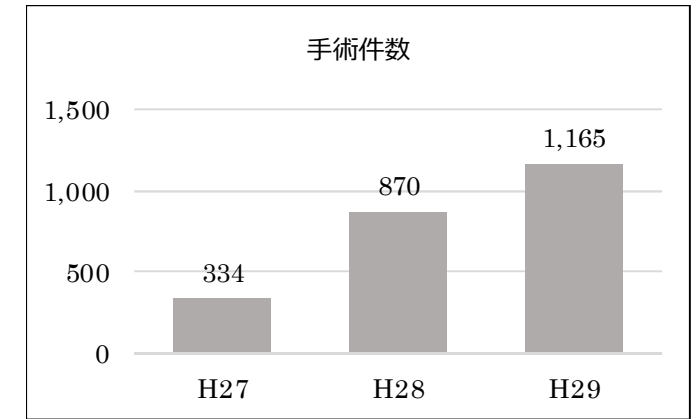
○外科、形成外科は常勤医師の増員により手術が可能な症例が増え、手術件数が増加している。

○患者が安心して手術を受けられるよう、手術前オリエンテーション等を実施するなど、患者満足度の向上に向けた取組が実施されている。

課題

今後、ますます増加する高齢者の医療需要に対応するため、カテーテル検査・治療、腹腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲の検査・治療の提供体制の充実を図る必要がある。

がんに対する外科手術の可能な症例が増えているが、がん治療に関しては地域がん診療連携拠点病院(近畿大学医学部奈良病院)との連携のもと、精密検査や確定診断等、標準的ながん診療機能を充実するとともに、病理診断、手術療法、化学療法、放射線療法の集学的治療体制の整備を図る必要がある。



病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 事業報告	平成 29 年度 事業報告の補足説明
	<p>・医療機器等の整備 必要性・採算性などを検討の上、高度医療機器の整備を行います。</p> <p>(導入予定機器)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整形外科(脊椎)手術用アドバンステーブル ・脳神経外科手術用電子顕微鏡等 <p>○患者満足度の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院・外来患者アンケート調査実施 <p>・ご意見箱の内容に対応 アンケート調査の結果、ご意見箱の意見及びそれに対する改善の取組について、ホームページで公表し、生駒市立病院管理運営協議会へ報告します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 	<p>・医療機器等の整備 必要性・採算性などを検討の上、高度医療機器の整備を行いました。</p> <p>(導入機器)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸液ポンプ・シリンジポンプの増設 ・形成外科レーザー機器 ・人工透析装置の増設 2 台 ・解析付心電計 ・手術台 1 台 ・HCU 心電図モニター一式 ・冷暖蔵配膳車 2 台 <p>○患者満足度の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院・外来患者アンケート (H29.5) 患者満足度 総合評価の評点 入院 80.6 点 (有効件数 102 件) 外来 79.3 点 (有効件数 407 件) <p>・ご意見箱の内容に対応 ご意見箱の意見及びそれに対する改善の取組について、1 階中央待合室の掲示板に掲示するとともに情報発信モニターに掲載しました。また生駒市立病院管理運営協議会へ報告しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 4 月新入職員 オリエンテーションにて研修 	<p><形成外科レーザー機器> Qスイッチ付ルビーレーザー：メラニンの異常組織だけを破壊し、コラーゲンやヘモグロビンの正常皮膚組織にはダメージを極力与えないで治療するものです。</p> <p><人工透析装置> 個人用透析装置 NCV-10：人工腎臓により血液透析を行う際に透析液の作製、透析液流量、透析液温度、及び血液流量の制御などを行うものです。(多人数用 9 台+個人用 2 台=11 台)</p> <p><入院・外来患者アンケート> ・指標：以下の 5 段階の回答による。 「大変よい」 100 点 「よい」 75 点 「ふつう」 50 点 「悪い」 25 点 「非常に悪い」 0 点 ・グループ同規模病院平均評点 入院 79.2 点、外来 75.5 点 ・ご意見の例 入院：喫煙ルームは作るべきだと思う。 外来：会計の待ち時間が長い。</p> <p><ご意見箱の対応例> ・病棟ダイルームに掛時計を設置 ・病棟の浴室に体重計を設置 ・1 階売店前から 1 階中央待合に情報発信モニターを移設し、発信内容を充実 ・自動精算機に LED 照明を設置</p>

3 ヶ年の評価・課題（案）	3 ヶ年の推移（参考）
<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大型医療機器の実績としては、地域医療機関からの検査依頼も含め、順調に稼働している。 ○休日夜間救急体制の診療対応レベルとして、いつでもCT、MRI、X線の諸検査、さらに、CAGによる心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能な診療体制を整えることができている。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今までの個人用透析装置（透析液を1台毎に精製）から、透析液を一箇所でまとめて精製する多人数用透析装置（セントラル透析液供給システム）を導入し、ローコスト運営、透析装置全般の自動化等の合理化を図りつつ、災害時の対応可能者数を増加することができた。 ○ご意見箱の設置により、市立病院の管理運営に患者の意見を反映させ、市民満足度の向上につなげていく仕組みができている。 <p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○形成外科へレーザー機器を導入したことにより、治療できる症例が増えている。 ○個人用透析装置が導入されたことにより、必要に応じて人工透析室からER（救急処置室）やHCU（準集中治療室）等へ移動して使用することが可能となっている。 ○心電図モニターの新設等、フルオープンへ向けた設備が整えられている。 <p>課題</p> <p>アンケート調査やご意見箱の意見に対応することにより患者満足度の向上につなげていく仕組みはできているが、ご意見に対応できたもののほか、対応できないご意見についてなぜ対応できないのかをご理解いただけるよう、ホームページに「よくある質問」のページを設けて周知するなど、市民や患者が市立病院に対する理解や認識を深めるための取組を実施していく必要がある。</p>	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 事業報告	平成 29 年度 事業報告の補足説明								
<p>医療における安全管理に対する取組</p> <p>●安全管理マニュアルの策定について 各部署からリスクマネージャーを選任し、院内にリスクマネジメント委員会を設置します。また、リスクマネジメント委員会は隔週開催し、医療安全管理者を中心に報告事例をもとにマニュアル化したうえ便覧を作成、各部署に配布し情報を共有します。</p> <p>●医療事故に対する対応について 発生した医療事故については、関係者から医療安全管理者へ迅速に報告し、その報告をもとに調査を行い、MRM(メディカルリスクマネジメント)委員会にて分析したうえ、医療安全推進委員会で討議し対応の決定を行いません。</p> <p>●院内感染対策について 感染防止委員会・リンクナース委員会をそれぞれ定期的に開催し、感染症発生の監視、院内感染の監視、職員の管理(予防接種等)、事故調査及び防止策の検討、職員に対する啓蒙と教育など、感染防止に対する取り組みを行いません。</p>	<p>○医療における安全管理について (医療安全管理体制について) 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。また、医療安全に関する市民への情報公開の方法等についても検討します。</p> <p>・医療安全管理委員会(毎月1回開催) ・医療安全カンファレンス(毎週1回開催) ・医療安全ラウンド(毎月1回開催) ・医療安全勉強会</p> <p>(医療事故に対する対応について) 医療事故発生時は、引き続き次の点について徹底し、院内の総力を挙げて迅速・的確に対応します。 ・患者の安全確保と救命処置を最優先します。 ・病院内における事故等の報告を速やかに行います。 ・患者・家族への事実の説明を誠実かつ速やかに行います。 ・重大な医療事故の場合は、保健所、警察署等へ速やかに報告・届出を行います。 ・事故の再発防止策を早期に検討し、職員に周知徹底します。</p> <p>(院内感染対策について) 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みます。</p> <p>・院内感染対策委員会(毎月1回開催) ・ICT合同カンファレンス(偶数月参加) ・ICTラウンド(毎週1回開催) ・感染勉強会</p>	<p>(医療安全管理体制について) 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。 また、医療安全に関する市民への情報公開の方法等については、次年度に発行予定の病院年報等に、インシデント・アクシデント件数を公表する方向で検討しました。</p> <p>・医療安全管理委員会(毎月1回開催) ・医療安全カンファレンス(毎週1回開催) ・医療安全勉強会(6/12・6/19 85名参加、2/8・2/13 117名参加)</p> <p>(院内感染対策について) 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みました。</p> <p>・院内感染対策委員会(毎月1回開催) ・ICT合同カンファレンス(偶数月参加) ・ICTラウンド(毎週1回開催) ・感染勉強会 8/15・8/25(141名参加) 3/16・3/20(229名参加)</p>	<p>＜病院事業計画との対比＞</p> <table border="1" data-bbox="1656 142 2389 268"> <thead> <tr> <th>病院事業計画</th> <th>平成 29 年度事業報告</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リスクマネジメント委員会</td> <td>医療安全カンファレンス</td> </tr> <tr> <td>医療安全推進委員会</td> <td>医療安全管理委員会</td> </tr> <tr> <td>感染防止委員会</td> <td>院内感染対策委員会</td> </tr> </tbody> </table> <p>＜医療安全管理委員会＞ 医療安全管理委員会は、委員長を副院長、副委員長を看護部長とし、その他、医師、看護師、コメディカルの各部門の責任者で構成されています。 医療安全管理委員会では、院内でのインシデント(ヒヤリハット)・アクシデント事例の情報共有と対策を検討しています。 通常想定されないようなインシデント事例やアクシデント事例が発生した場合は、臨時に医療安全管理委員会を開催するとともに、生駒市に報告しています。</p> <p>＜医療安全カンファレンス＞ 医療安全管理委員会の下に設置し、前週のインシデントレポートについて参加者が報告・情報共有・対策等を検討しています。</p> <p>＜医療安全ラウンド＞ ICTラウンドと一体的に実施することになりました。</p> <p>＜安全管理マニュアル＞ 各部門に医療安全管理委員(リスクマネージャー)を置き、各部門で作成した詳細マニュアルを運用している。(転倒転落、患者確認、口頭指示、体内遺残防止、診断検査の重大な結果報告、手術患者・手術部位の誤認防止、摘出された臓器・組織・検体の取扱など)</p> <p>＜医療安全勉強会＞ ・6/12、6/19「チームステップス」 講師 市立病院 医師 ・2/8、2/13「インシデント入力について」 講師 市立病院 事務主任</p> <p>＜インシデント・アクシデントの改善事例＞ ・内視鏡検査時に患者様の指輪が紛失した事例があった。 これに対し、貴金属類の取り外しは必ず薬剤投与前にご自身で外していただくことの徹底を行った。 ・小児科のインフルエンザワクチン接種の際に、前の被接種者に使用した注射器を刺してしまったという事例があった。 これに対し、予防接種マニュアルの見直しを行い、複数名での確認と使用物品の速やかな廃棄等の徹底を行った。</p> <p>＜院内感染対策委員会(ICT)＞ 院内感染対策委員会では、感染発生の監視、院内感染の監視、職員の管理(予防接種等)、事故調査及び防止策の検討を行っています。 ＜ICT合同カンファレンス＞ 近隣の徳洲会グループ病院と合同で、近隣地域の感染症発生状況や各種サーベイランス等の討議報告を行っています。 ＜ICTラウンド(医療安全ラウンドと一体的に実施)＞ 各部署を巡回し、医療事故やインシデントが起きやすい環境(物品の配置等)を指摘し、各委員会で報告し、改善を促す活動の事です。 ＜感染勉強会＞ ・8/15、8/25「見て聞いて感じる感染対策」 講師 市立病院 看護師長 ・3/16、3/20「見て聞いて感じる感染対策 Part2」 講師 市立病院 看護師長</p>	病院事業計画	平成 29 年度事業報告	リスクマネジメント委員会	医療安全カンファレンス	医療安全推進委員会	医療安全管理委員会	感染防止委員会	院内感染対策委員会
病院事業計画	平成 29 年度事業報告										
リスクマネジメント委員会	医療安全カンファレンス										
医療安全推進委員会	医療安全管理委員会										
感染防止委員会	院内感染対策委員会										

3 ヶ年の評価・課題（案）	3 ヶ年の推移（参考）
<p>【平成27年度】</p> <p>○医療安全管理に関する規定・マニュアル等を作成し、適正に運用している。</p> <p>○病院事業計画と組織体系や名称は異なるものの、事業計画に基づき、医療安全管理に関する取り組みを実施している。</p> <p>【平成28年度】</p> <p>○医療事故の原因となる誤認や伝達エラーの防止、安全な手技実施、ハイリスク領域の安全確保などの手順書を各部門ごとに整備運用することで、医療事故の発生を未然に防ぎ、患者が安心して安全な医療を受けられる環境を整えた。</p> <p>○医療安全の質管理のための具体的なPDCAサイクルを確立した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P 医療安全管理マニュアルによる手順等の確立 ・D 院内でのインシデント(ヒヤリハット)事例などの報告・情報共有 ・C その原因分析、症例検討の実施 ・A 予防と再発防止策の検討と実施(手順の見直し、職員への周知・教育) <p>○医療安全ラウンドやICTラウンドの実施により、各部署を巡回し、医療事故やインシデントのおきやすい環境（物品の配置等）を指摘し、各委員会で報告し、改善を促す活動を定例的に行い、医療安全対策に積極的に取り組んでいる。</p> <p>○医療法に基づき、医療の安全を確保するための指針の策定、委員会の開催、従業者に対する研修などの取組が実施されている。</p> <p>【平成29年度】</p> <p>○使用済注射器を再使用した事例については生駒市へ報告するとともに、内容が公表されている。</p> <p>課題</p> <p>医療事故等が発生した場合の医療安全管理は適正になされている。また、市民への包括的公表についても検討されているが、市立病院として病院運営の透明性を高め、市民の信頼を確保するため、患者のプライバシー等を考慮しながら市との情報共有・連携体制や市民への個別公表のルールを確立する必要がある。</p>	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 事業報告	平成 29 年度 事業報告の補足説明																
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○地域完結型の医療体制構築への寄与 地域の病院がそれぞれの機能を分担し、かかりつけ医との連携も含めた地域完結型の医療を目指し、また、患者を中心とした継続性のある医療を提供するため、前方連携と後方連携を考慮し、周辺の地域医療機関との病診連携や病病連携を積極的に推進する。</p> <p>地域医療の支援に対する取組 ●在宅支援機能の充実 地域連携バスや退院支援チーム等の取組みにより、在宅支援診療所との連携を図りながら、在宅への移行支援を行ないます。また、急性期医療の患者を対象とした在宅医療システムを検討実施します。具体的には、在宅患者の増悪時に対応する処置、入院加療用として 5 床を確保します。</p> <p>●開放型病床の設置 地域の開業医と連携することにより、診療の一貫性が実現できることから、医師会と病床数や運営方法を協議の上、開放型病床を設置します。</p> <p>●地域医療機関への医療教育プログラムの提供 次の取組を検討し、段階的に実施します。 ・診療科による他医療機関との合同症例検討会の実施 ・院内外の医療従事者に対する TCLS※又は AHABLS、AHAACLS トレーニング (ACLS に相当する指定管理者のプログラム) の継続的实施 (2 年に 1 回程度) ・医療機関、救急隊との定期勉強会の実施 (年 2 回程度)</p> <p>※TCLS 二次医療機関で行う救命救急における心肺蘇生法で、アメリカ心臓協会が認定しているコースである ACLS のガイドラインに基づいた実際の医療機器を使用したシミュレーション実習のこと。</p>	<p>基本方針 地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に貢献します。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。</p> <p>地域連携バス、退院支援チームの取組みについては、奈良県地域医療構想の方向性や生駒市医療介護連携ネットワーク協議会の動向等を勘案しながら、グループ病院の事例等を参考に、地域の医療機関や医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。</p> <p>○開放型病床の設置について 開放型病床については、グループ病院の事例等を参考に、地域の医療機関や医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講演会、研修会、交流会を実施します。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するために、医療連携登録医をはじめ、地域の病院、診療所へ往訪し、案内するなど PR や周知を強化します。</p> <p>・医療教育プログラム ・病診連携懇話会 (再掲)</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に貢献しました。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の受け入れを行いました。</p> <p>地域連携バスは実施していませんが、退院支援チームによって在宅への移行支援を行っています。</p> <p>生駒市医療介護連携ネットワーク協議会に院長が参加し、同協議会在宅医療介護推進部会及び入退院調整マニュアルワーキンググループに当院地域連携室メディカルソーシャルワーカーが参加しました。</p> <p>○開放型病床の設置について 開放型病床は実施していません。</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講演会、研修会、交流会を実施しました。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するために、医療連携登録医をはじめ、地域の病院、診療所へ往訪し、案内するなど PR や周知を強化しました。</p> <p>・医療教育プログラム 新生児蘇生法講習会専門 (A) コース 7/15 13 名参加 周産期救急講習 (ALSO) アドバンスコース 10/21・22 25 名参加 ・病診連携懇話会において症例検討等を実施していましたが、幅広く参加者を募ることができるよう、内容等の見直しに時間を要したため、次年度に繰越しました。(再掲) ・消防本部救急隊との意見交換会 4/19、8/8 実施 ・救急等に関する意見交換会 2/15 参加</p>	<p><医療連携登録医></p> <table border="1" data-bbox="1656 153 2160 226"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>58</td> <td>53</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医療連携登録医は、医療連携登録医申請書の提出によるもの。 ・58 施設の内、市内クリニックは 24 施設・29 名 ・全市内クリニック (88 施設) の 27%</p> <p><協力医療機関連携施設></p> <table border="1" data-bbox="1656 394 2160 468"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>43</td> <td>41</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>・協力医療機関連携施設 (介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホームなど) と、連携契約書を締結している。 <退院支援チーム> 市立病院の医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーにより、患者の退院の計画を作成しています。 <生駒市医療介護連携ネットワーク協議会> 5/27 生駒市における「入退院調整マニュアルづくり」など <生駒市医療介護連携ネットワーク協議会 在宅医療介護推進部会> 5/27、10/2、12/28、3/1 入退院調整マニュアル作成ワーキンググループの設置、「在宅医療介護資源集」のデータベース化、市民向け啓発リーフレット、在宅医療・介護連携にかかる相談窓口の設置など</p> <p><NCPR(新生児蘇生法)> 標準的な新生児蘇生法の理論と技術を習熟することにより、新生児の救命と重篤な障害の回避が期待されるものです。 <病診連携懇話会> (再掲) 医療連携登録医をはじめとした生駒市内の診療所の医師を対象とした症例検討会の実施、市立病院への紹介件数や機器の共同利用実績の報告などを行うことにより、医療連携の推進を図るものです。 <消防本部救急隊との意見交換例> ・市立病院の救急受入体制の確認 ・市立病院の医療教育プログラムの紹介 ・e-MATCH (奈良県 救急医療 管制支援システム事業) の運用の確認 <救急等に関する意見交換会> 生駒市消防本部、奈良西部病院、西奈良中央病院、倉病院、阪奈中央病院、近畿大学医学部奈良病院、白庭病院、生駒市立病院の担当者が出席</p>		H29	H28	増減	施設数	58	53	5		H29	H28	増減	施設数	43	41	2
	H29	H28	増減																
施設数	58	53	5																
	H29	H28	増減																
施設数	43	41	2																

【平成27年度】

○事業計画に基づき教育プログラム等を実施している。

【平成28年度】

○前年度と比較して、医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数が増加している。在宅患者の増悪時の受入れなど、在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院の役割を果たすため、市立病院と地域の医療機関等との連携が強化されている。

○病診連携懇話会において、他医療機関との合同症例の検討が実施されている。

○院内外の医療従事者に対して、ALSOなどの教育プログラムが実施されている。

【平成29年度】

○地域連携パスは実施していないものの、退院支援チームのほか、在宅医療・介護連携の推進のための入退院調整マニュアルづくりなど、市の事業に参加することにより、患者の在宅への移行支援の体制づくりを進めている。

○生駒市医療介護連携ネットワーク協議会等、市の在宅医療・介護連携事業に参画することにより、市内の医療機関・介護事業所等のスタッフ間での「顔の見える」関係性づくりが進められている。

○NCPRなどの教育プログラムに、院内外の医療従事者などが参加している。

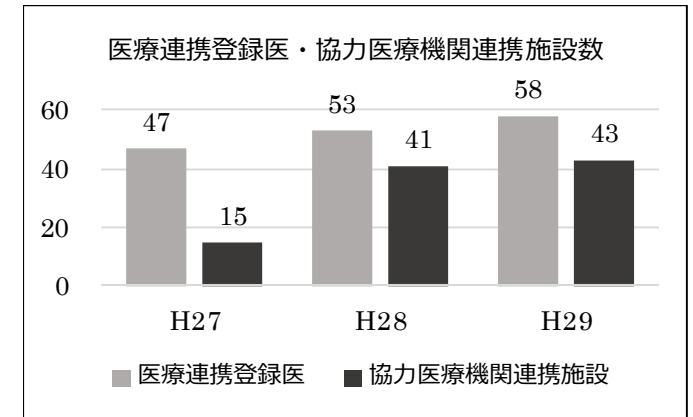
○消防本部救急隊との意見交換会には市立病院の医師、看護師が出席し、救急搬送を円滑にするため生駒市消防本部と救急搬送に関する情報共有が行われている。

○生駒市消防本部が実施する救急等に関する意見交換会に参加することにより、他病院の救急搬送の状況について情報共有が行われている。

課題

退院支援チーム等により退院支援が行われており、在宅患者の増悪事の受入等も実施しているが、さらに在宅支援機能を充実させるためには地域の医療機関との連携を強化していく必要がある。

新生児蘇生法の講習会や病診連携懇話会での症例検討など地域医療機関への医療教育プログラムを実施しているが、参加者を増やすためには大人に対する蘇生法(TCLS:徳洲会二次救命処置法)の救命講習会など、対象者が広範囲なプログラムの実施について検討する必要がある。



病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 事業報告	平成 29 年度 事業報告の補足説明																																																												
<p>●周辺の他の医療機関との連携 新病院開院後は、医師会に加入し、医療機器の相互利用やグループ内専門医による研究会、合同カンファレンスの開催、医師会枠としての開放病床の取組を進めます。 また、連携に賛同された医療機関を写真入りで院内に公開する「かかりつけ医コーナー」を設置し、患者が自由に情報収集でき、希望に応じて紹介状の作成、予約確認等を行い案内するシステムを構築します。 また、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携等を図る観点から、医師会の協力のもと、地域の診療所や病院を支援する医療機関として、将来的には「地域医療支援病院」の承認を目指します。</p> <p>●地域医療連携推進のための組織・体制及び方法の整備 院内に地域医療連携室を設置し、専任職員（看護師・MSW・介護職員等で構成）を配置します。 この専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズに応え、相互の紹介をはじめ診療情報等の提供を行ないます。 また、今後、さらなる地域医療連携を推進するため、医師会等とも十分に協議しながら地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築に向けての検討を行います。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への入会を目指し、引き続き医療機能等の情報提供等、入会審査に対応していきます。また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器のオープン利用件数の増を目指し、予約手続き等の簡略化を検討します。 ・オープン利用件数（年間） MRI 260 件 CT 80 件</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の拡大を目指し、登録のメリットを PR します。 （平成 30 年 3 月 31 日時点） ・医療連携登録医 60 施設 ・協力医療機関連携施設 60 施設</p> <p>地域の医療機関との連携・協力体制を重視し、紹介された患者の受入れに努め、病状の安定した患者は、積極的に「地域のかかりつけ医」へ逆紹介します。</p> <p>・紹介率 45% ・逆紹介率 20%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員（看護師 1 名・メディカルソーシャルワーカー 2 名・事務職員 2 名）による、円滑な紹介・逆紹介体制を充実します。 専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行ないます。 地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築については、奈良県や生駒市医療介護連携ネットワーク協議会の動向等を勘案し検討します。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への入会を目指し、9 月の新院長就任時に医師会長と面談したほか、毎月、市立病院の医療機能や実績に関する情報提供を重ねました。 また、医療機器のオープン利用件数の増を目指し、予約が放射線科で直接できるよう手続きを簡略化するとともに、可能な限り即日検査にも対応しました。 ・オープン利用件数（年間） MRI 260 件（全利用件数 2,167 件） CT 62 件（全利用件数 5,973 件） 内視鏡 15 件（全利用件数 1,461 件） エコー 16 件（全利用件数 2,945 件）</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の拡大を目指し、地域医療連携室の職員が地元医療機関を訪問し、登録のメリットを PR しました。 （平成 30 年 3 月 31 日） ・医療連携登録医 58 施設・71 名 ・協力医療機関連携施設 43 施設</p> <p>地域の医療機関との連携・協力体制を重視し、紹介された患者の受入れに努めました。 また、病状の安定した患者の逆紹介を促進するため、紹介を受けた患者については紹介元へ逆紹介する手続きの簡略化、紹介を受けていない患者については、患者の住居の周辺の医療機関を検索して逆紹介できるシステムの構築について検討しました。 ・紹介率 33.0% ・逆紹介率 12.9%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員メディカルソーシャルワーカーを 1 名増員し、4 名体制（看護師 1 名、MSW 2 名、事務 1 名）となりました。 専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行いました。 地域共有型電子カルテネットワークシステムについては、「やまと西和ネット」へ参加する方向で検討しました。</p>	<p><医師会へ提供している情報> 市立病院の外来予定表、当直表、オンコール表など <医療機器のオープン利用></p> <table border="1" data-bbox="1656 212 2175 373"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MRI</td> <td>260</td> <td>217</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>CT</td> <td>62</td> <td>54</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>内視鏡</td> <td>15</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>エコー</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p><医療連携登録医>（再掲）</p> <table border="1" data-bbox="1656 422 2175 495"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>58</td> <td>53</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>登録医のメリット：できる限り優先的に診察・検査を行うほか、紹介入院された患者の電子カルテ閲覧が可能です。また、症例検討会のご案内等、各種の情報を提供します。</p> <p><協力医療機関連携施設>（再掲）</p> <table border="1" data-bbox="1656 632 2175 705"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>43</td> <td>41</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>協力医療機関連携施設のメリット：できる限り優先的に緊急時の入院患者の受入れを行うほか、入院された患者の電子カルテ閲覧が可能です。 <紹介率・逆紹介率等></p> <table border="1" data-bbox="1656 810 2303 972"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>33.0</td> <td>32.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>12.9</td> <td>11.0</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>地域(市内)医療機関の市立病院利用率</td> <td>73.9</td> <td>67.1</td> <td>6.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>・紹介率：（紹介患者数＋救急患者数）÷初診患者数 H28:(1,899+1,734)÷11,148=32.6% H29:(2,210+1,824)÷12,209=33.0% ・逆紹介率 逆紹介患者数÷初診患者数 H28:1,229÷11,148=11.0% H29:1,579÷12,209=12.9% ・地域(市内)医療機関の市立病院利用率 市内で紹介を受けた医科診療所数÷市内医科診療所数 65÷88=73.9%</p> <p><地域医療連携室>（平成 30 年 3 月 31 日） ・看護師 1 名 ・メディカルソーシャルワーカー 2 名 ・事務員 1 名 ・3/1 地域医療連携室を 6 階から 1 階に移動 ・退院支援加算 2※</p> <table border="1" data-bbox="1656 1514 2160 1587"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>368</td> <td>109</td> <td>259</td> </tr> </tbody> </table> <p>※7 日以内に退院困難な患者を抽出し、できるだけ早期に患者・家族と面談、カンファレンスを実施</p> <p><やまと西和ネット> 西和医療圏(生駒市・平群町・三郷町・斑鳩町・王寺町・安堵町・上牧町・河合町・大和郡山市)の病院・医科診療所・歯科診療所・薬局・介護事業所を利用される人の病気・薬・検査結果などの情報を共有するものです。（事務局：近畿大学医学部奈良病院内、西和医療圏地域医療介護連携推進協議会）</p>		H29	H28	増減	MRI	260	217	43	CT	62	54	8	内視鏡	15	8	7	エコー	16	6	10		H29	H28	増減	施設数	58	53	5		H29	H28	増減	施設数	43	41	2		H29	H28	増減	紹介率	33.0	32.6	0.4	逆紹介率	12.9	11.0	1.9	地域(市内)医療機関の市立病院利用率	73.9	67.1	6.8		H29	H28	増減	件数	368	109	259
	H29	H28	増減																																																												
MRI	260	217	43																																																												
CT	62	54	8																																																												
内視鏡	15	8	7																																																												
エコー	16	6	10																																																												
	H29	H28	増減																																																												
施設数	58	53	5																																																												
	H29	H28	増減																																																												
施設数	43	41	2																																																												
	H29	H28	増減																																																												
紹介率	33.0	32.6	0.4																																																												
逆紹介率	12.9	11.0	1.9																																																												
地域(市内)医療機関の市立病院利用率	73.9	67.1	6.8																																																												
	H29	H28	増減																																																												
件数	368	109	259																																																												

【平成27年度】

○地域医療連携室を設置し、病病連携・病診連携窓口として地域の医療機関からの紹介や外来患者・家族の相談への対応や当院入院中の患者・家族への対応を行い、地域の関係機関との調整を行いながら自宅復帰や施設入所へのお手伝いを行っている。

【平成28年度】

- 医療機器のオープン利用は、MRIが+90件（平成27年度実績34件）と昨年1年間の実績を超える利用がある。
- 8月から地域医療連携室に専属の看護師を配置し、入退院支援業務を強化した。
- 前年度と比較して、医療機器のオープン利用件数が増加している。市立病院の医療機器を地域の診療所等が利用することにより、医療連携が推進されている。

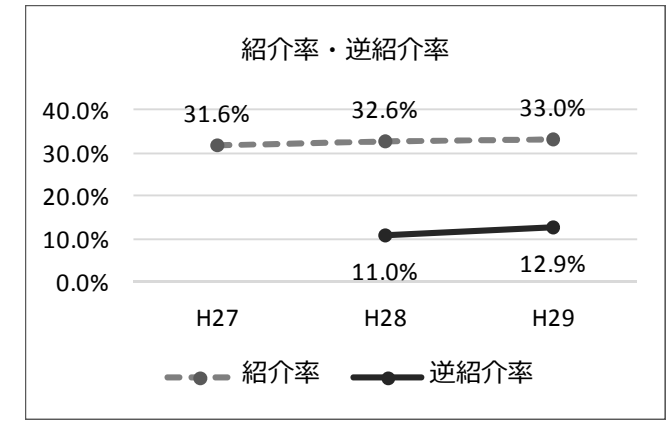
【平成29年度】

- 予約手続きの簡略化等の取組により、医療機器のオープン利用件数が増加している。市立病院の医療機器を地域の診療所等が利用することにより、医療連携が推進されている。
- 地域医療連携室の職員が地元医療機関を訪問することにより、医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数が増加しており、市立病院と地域の医療機関等との連携が進められている。

課題

医師会に対して市立病院の医療機能等の情報提供はしているが、地域医療機関との病病・病診連携を推進するためには医師会との連携は不可欠であり、引き続き医師会への入会審査に対応していく必要がある。

疾病予防や健康管理、通常みられる病気等の治療についてはかかりつけ医、入院医療及び専門外来については病院、という役割分担と連携体制を推進するため、さらなる紹介率及び逆紹介率の向上を目指す必要がある。



【平成27年度】

- 「救急は断らない」という姿勢のもと、ER型救急システムで、基本的に全ての救急患者に対応する救急初期診療を行っている。
- 救急搬送される患者だけでなく、診療時間外に直接自力で来院されたウォークイン患者も24時間体制で受け入れを行っている。
- 市立病院で受け入れられず、他院へ転送された割合が、受入総件数の6.86%あったのは、整形外科、脳神経外科の常勤医師がいないことから、骨折や脳梗塞、くも膜下出血などの急患について、対応できなかったことが主たる要因であった。
- 救急告示病院として認定された。
- ハイリスク分娩への対応は、県総合医療センターと連携を取っている。

【平成28年度】

- 非常勤の当直医師の確保等により、救急受入件数、救急応需率が増加している。
- 整形外科の常勤医師が確保できたほか、非常勤医師についても救急対応の能力が向上していることから、救急患者の転送件数及び転送率が減少傾向にある。
- 市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制のバックアップの役割を果たしている。

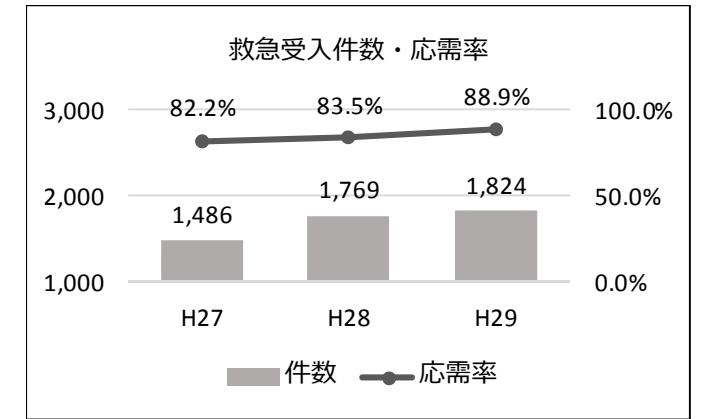
【平成29年度】

- 当直及びオンコールが可能な常勤医師を確保し、常勤医師の当直及びオンコール体制が整えられてきたことにより、救急応需率が上昇し、救急受入件数、ウォークイン患者の受入件数が増加しているほか、救急対応の能力が向上していることから、救急患者の転送件数及び転送率が減少傾向にある。

課題

市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制のバックアップに努めているが、輪番体制への参加に向けて、引き続き関係機関へ協議を行う必要がある。

小児科、産婦人科の常勤医師は十分に確保できていないことから、北和小児科二次輪番体制、北和産婦人科一次救急医療体制の参加に向けて、小児科、産婦人科の常勤医師を増員する必要がある。



病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 事業報告	平成 29 年度 事業報告の補足説明																																		
<p>●救急に対する人員体制 医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師及び事務職員の当直体制をとります。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="121 262 581 661"> <thead> <tr> <th></th> <th>人員体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常時</td> <td>内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制</td> </tr> <tr> <td>北和小児科二次輪番日</td> <td>通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日</td> <td>通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置</td> </tr> <tr> <td>北和産婦人科一次救急当番日</td> <td>通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直</td> </tr> </tbody> </table>		人員体制	通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制	北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直	休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置	北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。特に脳神経外科の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。</p> <p>(救急受入体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師 1 名ないし 2 名の当直 専門医によるオンコール体制 外来看護師 2・3 名の当直 放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備しました。当直・オンコール体制のさらなる充実を図りました。</p> <p>(休日夜間救急受入体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師 1 名ないし 2 名の当直 専門医によるオンコール体制 外来看護師 2・3 名の当直 放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 	<p><医師の当直体制></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年 1 月から 平日：概ね 2 名体制（常勤医師 1 名＋非常勤医師 1 名） 土日祝：1 名体制（非常勤医師 1 名） <p><医師のオンコール体制></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年 2 月から 消化器内科、循環器内科、外科、形成外科、腎臓泌尿器科、産婦人科、小児科 <p>・救急受入した患者を検査した結果、脳神経外科の治療が必要な場合は県内の他病院との連携体制で対応</p> <p>連携実績</p> <table border="0" data-bbox="1676 441 2062 808"> <tr><td>奈良県総合医療センター</td><td>3 件</td></tr> <tr><td>市立奈良病院</td><td>2 件</td></tr> <tr><td>奈良県立医科大学附属病院</td><td>1 件</td></tr> <tr><td>大阪医科大学附属病院</td><td>1 件</td></tr> <tr><td>白庭病院</td><td>1 件</td></tr> <tr><td>野崎徳洲会病院</td><td>10 件</td></tr> <tr><td>近畿大学奈良病院</td><td>1 件</td></tr> <tr><td>郡山青藍病院</td><td>2 件</td></tr> <tr><td>高井病院</td><td>1 件</td></tr> <tr><td>阪奈中央病院</td><td>2 件</td></tr> <tr><td>天理よろず病院</td><td>1 件</td></tr> <tr><td>西和医療センター</td><td>1 件</td></tr> </table>	奈良県総合医療センター	3 件	市立奈良病院	2 件	奈良県立医科大学附属病院	1 件	大阪医科大学附属病院	1 件	白庭病院	1 件	野崎徳洲会病院	10 件	近畿大学奈良病院	1 件	郡山青藍病院	2 件	高井病院	1 件	阪奈中央病院	2 件	天理よろず病院	1 件	西和医療センター	1 件
	人員体制																																				
通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制																																				
北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直																																				
休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置																																				
北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直																																				
奈良県総合医療センター	3 件																																				
市立奈良病院	2 件																																				
奈良県立医科大学附属病院	1 件																																				
大阪医科大学附属病院	1 件																																				
白庭病院	1 件																																				
野崎徳洲会病院	10 件																																				
近畿大学奈良病院	1 件																																				
郡山青藍病院	2 件																																				
高井病院	1 件																																				
阪奈中央病院	2 件																																				
天理よろず病院	1 件																																				
西和医療センター	1 件																																				
<p>●診療科毎の対応レベル</p> <table border="1" data-bbox="121 928 581 1654"> <thead> <tr> <th></th> <th>対応レベル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>小児科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可</td> </tr> <tr> <td>産婦人科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)</td> </tr> </tbody> </table>		対応レベル	内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)	外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)	小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可	産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて</p> <p>休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続します。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能な体制を充実します。</p> <p>産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応します。</p>	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて</p> <p>休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続しました。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能な体制を維持しました。</p> <p>産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応しました。</p>	<p>・当直時間帯での CT、MRI 検査、心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術の各実績</p> <table border="0" data-bbox="1676 945 2062 1081"> <tr><td>CT</td><td>807 件</td></tr> <tr><td>MRI</td><td>14 件</td></tr> <tr><td>心臓カテーテル検査</td><td>0 件</td></tr> <tr><td>内視鏡検査</td><td>9 件</td></tr> </table> <p>・ハイリスク分娩への対応は、奈良県総合医療センターと連携を取っている。通常の未熟児出産は市立病院で対応可能。(再掲)</p> <p>連携実績</p> <table border="0" data-bbox="1676 1186 2062 1249"> <tr><td>奈良県総合医療センター</td><td>3 件</td></tr> <tr><td>奈良県立医科大学附属病院</td><td>1 件</td></tr> </table>	CT	807 件	MRI	14 件	心臓カテーテル検査	0 件	内視鏡検査	9 件	奈良県総合医療センター	3 件	奈良県立医科大学附属病院	1 件												
	対応レベル																																				
内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)																																				
外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)																																				
小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可																																				
産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)																																				
CT	807 件																																				
MRI	14 件																																				
心臓カテーテル検査	0 件																																				
内視鏡検査	9 件																																				
奈良県総合医療センター	3 件																																				
奈良県立医科大学附属病院	1 件																																				

3 ヶ年の評価・課題（案）	3 ヶ年の推移（参考）
<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医師をはじめ医療スタッフの当直等体制及び緊急時対応可能な検査・治療体制の確保による24時間対応の救急受入れ体制を構築している。 ○特に、夜間休日の吐下血の急患への内視鏡検査・処置は県内でも対応可能な医療機関が少なく、貢献度は高い。 ○整形外科、脳神経外科の常勤医師がいないことから、骨折や脳梗塞、くも膜下出血などの急患については、対応できず他病院へ転送している状況である。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開院当初からの医師、看護師、放射線技師、検査技師、事務職員の当直体制に加え、薬剤師について平成28年6月1日から365日の当直体制を整備できている。 ○整形外科は常勤医師の確保により、6/1からオンコール体制が可能となり、骨折等の救急患者の治療が可能となった。 ○病院事業計画に掲げるCT、MRI、X線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制が継続されている。 ○心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能な体制が維持されている。 <p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○当直が可能な常勤医師を確保したことにより、平日は概ね2名の当直体制ができている。土日祝については1名が当直している。 ○当直及びオンコールが可能な外科の常勤医師を確保したことにより、休日夜間でも外科手術が可能な体制が整えられている。 <p>課題</p> <p>医師、看護師、放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員の24時間365日の当直体制及びCT、MRI、X線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制が整えられているが、24時間365日の医師2名体制の当直や専門医のオンコール体制のさらなる充実のため、常勤医師を増員する必要がある。</p>	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 事業報告	平成 29 年度 事業報告の補足説明																																																																
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○小児医療の充実 本地域における小児二次医療の充実の必要性から、地域医療機関との役割分担のもと、二次医療までの対応が可能な小児医療を提供する。</p>	<p>基本方針 小児の救急対応、入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備を行います。 ○小児医療体制について ・医師の人員体制は、常勤医師の確保により、常勤医師 2 名体制を目指します。 ・稼働病床数は、4 床から個室 1 床を増やし、5 床とします。 ・北和小児科二次輪番体制への参加を目指します。</p>	<p>小児の入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。 ○小児医療体制について ・医師の人員体制は、常勤医師の 1 名確保 (1 月) ・稼働病床数は、個室 4 床としました。 ・北和小児科二次輪番体制への参加を目指し、北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席しました。</p>	<p>・常勤医師の確保により、肺炎、アデノウイルス感染症等の入院治療が可能になりました。 (1 日最大稼働病床数 4 床) ・小児科外来診療は、常勤医師 1 名及び非常勤医師 4 名体制 ・7/26 平成 29 年度第 1 回北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席。(再掲) ・12/11 平成 29 年度第 2 回北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席。(再掲) (参考：市内の輪番参加病院 近畿大学医学部奈良病院)</p>																																																																
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○災害時医療の確保 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な応急用医療資機材等を備えるなど、災害に対する緊急対応ができる機能を確保する。</p>	<p>基本方針 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。 ○災害時医療体制の確立について 生駒市立病院災害対策マニュアルに沿って現場スタッフによる実地訓練を行います。 ・消防訓練 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練) ・防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練)</p>	<p>大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備しました。 ○災害時医療体制の確立について 生駒市立病院災害対策マニュアルに沿って現場スタッフによる実地訓練を行いました。 ・8/29、12/8 消防訓練 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練) ・9/10 奈良県防災総合訓練 (トリアージ・患者受入訓練)</p>	<p><消防訓練> 訓練の実施により、消防設備の位置・内容等について実地確認をし、確実に初期消火が行える体制を整えることができた。 訓練参加者 8/29 21 人 12/8 31 人 <奈良県防災総合訓練> 生駒市を震源とする直下型地震による甚大な被害の発生を想定し、避難所等から病院に搬送された被災傷病者の医療救護訓練ができた。 訓練参加者 医師 1 人、看護師 1 人、助産師 1 人、事務員 2 人</p>																																																																
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○予防医療の啓発 市立病院であることから、市民の公衆衛生意識の高揚を図るための講習を行うなど、市の保健行政と連携し、保健知識の啓発を図る。 ●疾病予防機能の強化について 疾病予防に向けて、メタボリック・シンドロームや生活習慣病等についての医療講演会を定期的に開催します。(講演会の講師は医師、看護師、管理栄養士、理学療法士等病院内のスタッフや院外の医療従事者が務めます。) また、市民健診や予防接種について、市医師会と連携して、二次健診の分担等の協力体制を整備します。</p>	<p>基本方針 市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。 また、市民健診や予防接種については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、適宜拡充していきます。 ○疾病予防機能の強化について 市民への予防医療の啓発として、認知症やうつ病、発達障害など、市民の要望が多いものの市立病院スタッフで対応できない分野について、市と共催で、講演会等を開催します。 胃がん、乳がん、子宮頸がん検診など未実施の健診については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、実施を検討します。 ・医療講演会 (自治会等各種団体への出張講座含む) 月 4 回程度実施 ・市民健診 大腸がん検診 110 件 肝炎ウイルス検診 25 件 特定健診 1,000 件 一般健診 550 件 人間ドック・脳ドック 460 件 その他団体健診等 1,000 件 ・高齢者インフルエンザ予防接種 自己負担金免除対象者 250 件</p>	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。 また、市民健診や予防接種については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、適宜実施しました。 ○疾病予防機能の強化について 胃がん(胃内視鏡)検診については、9 月 1 日から実施しています。 乳がん健診の実施に向けて、3 月に女性技師 1 名を確保しました。次年度にマンモグラフィを導入する予定です。 ・医療講演会の内容の充実(再掲) 54 講座 2,253 名参加 (自治会等各種団体への出張講座 3 回 225 名を含む) ・市民健診 大腸がん検診 112 件 胃がん検診 67 件 肝炎ウイルス検診 18 件 特定健診 931 件 一般健診 828 件 生活保護者等の健康診査 7 件 人間ドック・脳ドック 487 件 その他団体健診等 1,071 件 ・高齢者インフルエンザ予防接種 (定期接種) 271 件</p>	<p><医療講演会> <table border="1" data-bbox="1656 961 2160 1050"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>54</td> <td>40</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>2,253</td> <td>1,806</td> <td>447</td> </tr> </tbody> </table> <医療講演会の内容例>(再掲) ・がんの早期発見について ・皮膚の「できもの」の外科治療・レーザー治療 ・入院から介護へ <市民健診> <table border="1" data-bbox="1656 1266 2392 1570"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>112</td> <td>104</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>胃がん(胃内視鏡)検診※1</td> <td>67</td> <td></td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検診</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>特定健診※2</td> <td>931</td> <td>802</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>一般健診</td> <td>828</td> <td>599</td> <td>229</td> </tr> <tr> <td>生活保護者等の健康診査※3</td> <td>7</td> <td></td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>人間ドック・脳ドック</td> <td>487</td> <td>400</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>その他団体健診等</td> <td>1,071</td> <td>995</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,521</td> <td>2,917</td> <td>604</td> </tr> </tbody> </table> ※1 生駒市指定医療機関数：4 ※2 生活習慣病を予防・早期発見するための健診です。 ※3 健康増進法施行規則第 4 条の 2 第 4 号に定める健康診査 <高齢者インフルエンザ予防接種> <table border="1" data-bbox="1656 1738 2320 1827"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数(市立病院)</td> <td>271</td> <td>250</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>件数(生駒市全体)</td> <td>14,164</td> <td>14,513</td> <td>△ 349</td> </tr> </tbody> </table> </p>		H29	H28	増減	件数	54	40	14	参加者数	2,253	1,806	447		H29	H28	増減	大腸がん検診	112	104	8	胃がん(胃内視鏡)検診※1	67		67	肝炎ウイルス検診	18	17	1	特定健診※2	931	802	129	一般健診	828	599	229	生活保護者等の健康診査※3	7		7	人間ドック・脳ドック	487	400	87	その他団体健診等	1,071	995	76	合計	3,521	2,917	604		H29	H28	増減	件数(市立病院)	271	250	21	件数(生駒市全体)	14,164	14,513	△ 349
	H29	H28	増減																																																																
件数	54	40	14																																																																
参加者数	2,253	1,806	447																																																																
	H29	H28	増減																																																																
大腸がん検診	112	104	8																																																																
胃がん(胃内視鏡)検診※1	67		67																																																																
肝炎ウイルス検診	18	17	1																																																																
特定健診※2	931	802	129																																																																
一般健診	828	599	229																																																																
生活保護者等の健康診査※3	7		7																																																																
人間ドック・脳ドック	487	400	87																																																																
その他団体健診等	1,071	995	76																																																																
合計	3,521	2,917	604																																																																
	H29	H28	増減																																																																
件数(市立病院)	271	250	21																																																																
件数(生駒市全体)	14,164	14,513	△ 349																																																																

3 ヶ年の評価・課題（案）	3 ヶ年の推移（参考）																
<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小児外来は、常勤医師及び非常勤医師により実施した。 ○小児科については、入院は常勤1名で対応し、外来は常勤1名、非常勤5名で、2診体制で対応した。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小児外来は、常勤医師及び非常勤医師により実施しているが、入院医療及び小児救急については、常勤医師1名体制では医師の負担が大きい。 <p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小児科は4月から常勤医師が不在となっていたが、1月に常勤医師を確保したことにより、小児科の入院治療が再び可能となっている。 <p>課題</p> <p>小児科の常勤医師1名の確保により小児科の入院治療が再び可能となっているが、入院医療及び小児救急を充実させるためには、当直が可能な常勤医師を複数人確保する必要がある。</p>	<p>小児科医師数</p> <table border="1"> <caption>小児科医師数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>常勤医師</th> <th>常勤換算数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>1</td> <td>0.4</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1</td> <td>0.4</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1</td> <td>0.4</td> <td>1.4</td> </tr> </tbody> </table>	年度	常勤医師	常勤換算数	合計	H27	1	0.4	1.4	H28	1	0.4	1.4	H29	1	0.4	1.4
年度	常勤医師	常勤換算数	合計														
H27	1	0.4	1.4														
H28	1	0.4	1.4														
H29	1	0.4	1.4														
<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害発生時の体制・ルールが一定まとまった。 ○市消防との協働による防災訓練を実施した。 ○災害用備蓄品を計画どおり配置した。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市立病院として国内の災害救援活動にいち早く参加し、貢献することができた。 ○訓練による実施検証を行い、改善点が明らかになったことから、より実効性が発揮できるような体制が整備できた。 <p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大規模災害時の医療救護の現地訓練を市内病院等とともに行うことにより、医療救護体制の整備に努められている。 <p>課題</p> <p>災害対策マニュアルに沿って定期的に訓練を行い、生駒市で災害が発生した場合の医療救護体制を整えているが、大規模災害時の市や医師会をはじめとする市内医療機関との連携体制を構築する必要がある。</p>																	
<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開院当初から精力的に医療講演会を開催し、受講者数も一定確保できている。 <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市立病院の医師や薬剤師等による疾病予防に向けた医療講演会が定期的で開催されている。 ○健診実績は、いずれも前年度と比較して増加している。 ○高齢者インフルエンザ予防接種件数が前年度と比較して増加している。 <p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療講演会は、講演会で実施したアンケート調査で希望が多かったがん治療や在宅医療に関する内容が開催されている。（再掲） ○胃がん（胃内視鏡・個別）検診については市内で実施できる医療機関が少ないことから、市立病院が実施することにより疾病予防機能の拡充が図れている。 <p>課題</p> <p>市民の疾病予防を目的として医療講演会を開催しているが、市立病院として市民との交流、健康づくりを推進するため、自治会等各種団体への出張講座も増やしていく必要がある。</p> <p>市民健診や予防接種の件数が増加しているが、地域の診療所では対応できない、又は対応できる医療機関が少ない二次健診等を充実させていく必要がある。</p>	<p>医療講演会開催数・参加者数</p> <table border="1"> <caption>医療講演会開催数・参加者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数</th> <th>開催数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>2,203</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,806</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2,253</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>	年度	参加者数	開催数	H27	2,203	30	H28	1,806	40	H29	2,253	54				
年度	参加者数	開催数															
H27	2,203	30															
H28	1,806	40															
H29	2,253	54															

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 事業報告	平成 29 年度 事業報告の補足説明
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○市民参加による運営 条例で設置された市民の代表が参加する病院事業推進委員会において、運営の基本となる病院事業計画、指定管理者との協定及び運営状況の改善について審議し、市民参加による病院運営を実現する。</p>	<p>基本方針 市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進します。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催します。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み 入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見及び改善の取組みについて、院内掲示、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告など広く市民等に周知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立病院管理運営協議会 入院・外来患者アンケート調査（再掲） ご意見箱の内容に対する対応（再掲） <p>○市民交流事業について 市立病院ロビーコンサートなど市民交流事業の開催について、広く広報します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携フェスタ 市立病院ロビーコンサート 	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進しました。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催しました。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み ご意見箱の意見及び改善の取組みについて、院内掲示、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会などへの報告など市民等に周知しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立病院管理運営協議会開催 入院・外来患者アンケート調査（再掲） ご意見箱の内容に対する対応（再掲） <p>改善の取組について1階中央待合室に掲示するとともに、情報発信モニターに掲載しました。また生駒市立病院管理運営協議会へ報告しました。</p> <p>○市民交流事業について 市立病院ロビーコンサートなど市民交流事業の開催について広く市民に周知し、実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康フェスティバル 6/4 約 700 名参加 市立病院ロビーコンサート ムジークフェストなら 2017 6/11 約 140 名参加 クリスマスコンサート 12/3 135 名参加 <p>○市民ボランティア 市立病院 4 階中庭 植栽手入れなど</p>	<p><生駒市立病院管理運営協議会> ・ 7/20 第 6 回会議開催 会議内容 平成 28 年度実施状況調査報告書(案)について ・ 11/30 第 7 回会議開催 会議内容 平成 29 年度生駒市立病院中間報告書（案）について <入院・外来患者アンケート>（再掲） ・ 指標：以下の 5 段階の回答による。 「大変よい」 100 点 「よい」 75 点 「ふつう」 50 点 「悪い」 25 点 「非常に悪い」 0 点 ・ グループ同規模病院平均評点 入院 79.2 点、外来 75.5 点 ・ ご意見の例 入院：喫煙ルームは作るべきだと思う。 外来：会計の待ち時間が長い。 <ご意見箱の対応例>（再掲） ・ 病棟ダイルームに掛時計を設置 ・ 病棟の浴室に体重計を設置 ・ 1 階売店前から 1 階中央待合に情報発信モニターを移設し、発信内容を充実 ・ 自動精算機に LED 照明を設置 <健康フェスティバル（地域医療連携フェスタから名称変更）> ・ 市立病院と生駒市の共催 ・ 医療講演会（市内医療機関の医師 2 名、市立病院の医師 3 名） ・ 市内小学校ブラスバンド部によるコンサート ・ 病院スタッフによる琴、ピアノ演奏 ・ 健康チェックコーナー ・ 救命体験 ・ 薬剤師体験(お菓子を使った錠剤や散剤の分包体験等) ・ 医療機器体験(スーパーライザー※、電気メス、気管挿管、人工呼吸器など)等 ※スーパーライザーとは、近赤外線を照射することで血行を改善し、症状や痛みを緩和してくれる医療機器。 <市立病院ロビーコンサート> ・ ムジークフェストなら 2017 ムジークフェストなら 2017 (奈良の街が音楽であふれる 16 日間) の一環としてピアノやフルート等による名曲演奏を行いました。 ・ クリスマスコンサート ロビーに大きなクリスマスツリーを設置し、読み聞かせやピアノ、シターという楽器、ハンドベルによる演奏を行いました。</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○環境に配慮した運営 新病院の運営にあたっては、環境マネジメントシステムである ISO(国際標準化機構)14000 シリーズの認証取得を目指す。</p>	<p>基本方針 引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化します。 引き続き日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知することで、院内での省エネルギー化の啓発を図ります。 	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化しました。 引き続き日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化の啓発を図りました。 	
			<p><院内保育所> 院内 7 階バンビ保育園 ・ 保育時間 日勤 8:00~17:30 (365 日) 夜勤 16:00~ 翌日 10:00 (週 2 回 火・金) ・ 保育園児 対象 生後 2 か月~10 歳 (医師・看護職員のお子さん) ・ 保育士 人員 3 名 実績 ・ 保育児童数 一日平均 6 人 ・ 24 時間保育運営日数 20 日 ・ 休日保育運営日数 67 日</p>

3 ヶ年の評価・課題（案）	3 ヶ年の推移（参考）
<p>【平成27年度】</p> <p>○外来部門の満足度（再掲） 医師の「患者さんへの配慮」や「内容の説明」「看護師の対応やサービス」に評価が高く、会計、総合受付、掲示物の項目の評価が低くなっている。</p> <p>○入院部門の満足度（再掲） 医師、看護師の説明、態度に関する項目の評価が高く、食事、掲示物、売店、静寂といった施設環境の項目の評価が低くなっている。</p> <p>○ご意見箱の設置により、市立病院の管理運営に市民の意見を反映させ、市民満足度の向上につなげていく仕組みができた。</p> <p>○市立病院を身近に感じていただくための市民交流事業をNPOの協力を得ながら実施した。</p> <p>【平成28年度】</p> <p>○ご意見箱の設置及び生駒市立病院管理運営協議会の運営により、市立病院の管理運営に市民の意見を反映させ、市民満足度の向上につなげていく仕組みができた。</p> <p>○ロビーコンサートは、市民交流の場であるとともに市立病院の入院患者のホスピタリティの向上にも寄与している。</p> <p>○サマーフェスタ&親子見学会は、健康増進に関する市民の知識と理解を深めるとともに、子ども達が医療職を目指すきっかけづくりの場を提供している。</p> <p>【平成29年度】</p> <p>○生駒市立病院管理運営協議会では、指定管理者から提出された前年度の事業報告について市が実施状況調査をした内容が報告されているほか、市民等の会員からの評価や課題等についての意見・提案を、直接、市長や院長に伝えることができる場となっている。さらには、次年度事業計画に反映する仕組みが整えられている。</p> <p>課題</p> <p>アンケート調査やご意見箱の意見に対応することにより患者満足度の向上につなげていく仕組みはできているが、ご意見に対応できたもののほか、対応できないご意見についてなぜ対応できないのかをご理解いただけるよう、ホームページに「よくある質問」のページを設けて周知するなど、市民や患者が市立病院に対する理解や認識を深めるための取組を実施していく必要がある。（再掲）</p>	
<p>【平成27・28・29年度】</p> <p>○市組織と同等の取組みが実施されている。</p>	

収支

(単位 千円)

平成29年度 事業計画 (平成30年3月末)		平成29年度 事業報告		計画と報告の差額	
医業収入	2,717,212	医業収入	2,981,336	医業収入	264,124
医業費用	2,907,143	医業費用	3,224,355	医業費用	317,212
医業利益	△ 189,931	医業利益	△ 243,019	医業利益	△ 53,088
その他費用	38,173	その他費用	0	その他費用	△ 38,173
医業外収益	13,562	医業外収益	10,300	医業外収益	△ 3,262
医業外費用	6,240	医業外費用	9	医業外費用	△ 6,231
経常利益	△ 220,782	経常利益	△ 232,728	経常利益	△ 11,946